

ラグビータウン熊谷のひみつ

One for All All for One



スポーツの秋。みなさんが好きなスポーツはなんですか？熊谷市のスポーツといえば「ラグビー」が有名です。私達の住む熊谷市は「ラグビータウン熊谷」とも呼ばれ昔からラグビーが盛んです。なぜ、ラグビーなのでしょう？そこには、ついつい力を入れちゃう理由があるのです。ここでは、みなさんに「ラグビータウン熊谷」の自慢できるひみつを伝えます。

始まりはいつから？

昭和二十三年に熊谷商工（現在の熊谷商業と熊谷工業にあたる学校）がラグビー部を作り、三年後に県大会で初優勝しました。当時、森喜雄さんというカリスマ監督がチームを強くし、全国大会常連校となりました。昭和四十二年の埼玉国体の時は荒川大橋の近くの河川敷がラグビー会場として使われました。昔から熊谷はラグビーが盛んだったのです。

ラグビータウン熊谷

平成二年度に全国高校ラグビー大会で熊谷工業が初優勝し熊谷駅から市役所まで優勝パレードを行いました。平成三年には、全国でも有数な現在のラグビー場が完成しました。



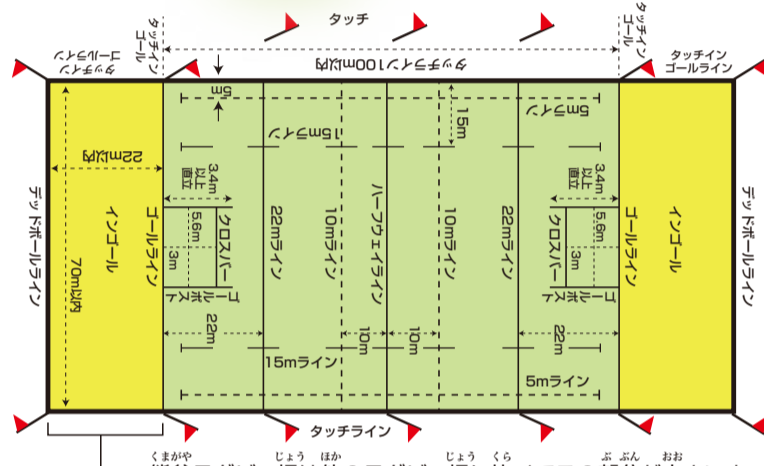
写真提供：熊谷市



写真提供：熊谷市

埼玉県のラグビーは、熊谷を中心に発展してきたこともあり、ぜひ県営ラグビー場を熊谷にという思いから、埼玉県ラグビー協会の熱心な働きかけや熊谷市民の熱意が、当時の県知事に伝わり建設することができました。

みなさんは「ワンフオアオール」といいますか？ラグビーの世界ではよく使われる言葉ですが、日本語に訳すと、「ひとり」は「みんなのために」...「みんなは」...「ひとりのために」...「みなさんも仲間を思いやる気持ち、助け合う気持ちをわすれないでね！」美しいラグビー精神と、ラグビーを活かしたまちづくりを進めるためにラグビータウン熊谷として発信しているのです。



熊谷ラグビー場

秩父宮ラグビー場や全国高校大会を行う近鉄花園ラグビー場を知っていますか？秩父宮は誰もが認めるラグビーの聖地、花園は高校生ラグビーのあこがれの場所です。実は熊谷ラグビー場は、この2つよりグラウンドが広いのです。

フルサイズのグラウンドが三面あるのは熊谷ラグビー場だけです。さらにゴールポストの高さですが、アルミのポールが三本つなげられた二十メートルの高さは日本一です。現在修復中のため短くなっていますが、近々立派なゴールポストが復活する予定です。

駅前モニュメント

みなさんは熊谷駅前にあるラグビーのモニュメントを見たことがありませんか？ラグビータウン熊谷のシンボルとして、埼玉県ラグビー協会の寄付により作られ、今では待ち合わせ場所の目印にもなっています。モニュメントのデザインは、関係者がニュージランドで目にしたウイスキーのボトルがもとになっているそうです。ニュージランドはラ

グビーが国技で、代表チームのオーブルフラックスは世界最強です。また、熊谷市の姉妹都市インバーカーギル市もニュージランドにあります。モニュメントの上に立つラグーマンを良く見ると、九番の背番号を付けていることがわかります。これはスクラムハーフというポジションの人が付ける番号です。熊谷高校出身で日本代表監督も務めた宿沢広朗さんや、熊谷工業出身の元日本代表選手、堀越正己さん（現・立正大学ラグビー部監督）などが付けていた番号で、熊谷からは二人以外にも優秀なスクラムハーフが何人も出ています。



また、モニュメントの裏側を見ると写真のような銘板が取り付けられています。何が書いてあるのか、本物を見て確認してみてください。



みなさん、ラグビーのイメージは、少し変わりましたか？ラグビーというと、ぶつかり合っ

て痛そうなスポーツというイメージを持つ人が多いと思いますが、世界中でプレイされている人気のあるスポーツで、『ワンフオアオール』の気持ちをもって、チームワークで戦うスポーツです。ここ熊谷市でも長い歴史と活躍したたくさんの方の選手や監督がいます。そして熊谷市でもたくさん試合が開催されていて、生の試合も見ることが出来ますよ。ぜひ熊谷ラグビー場へ行って、本物のラグビーの試合を見てみてください。きっとその迫力に驚くと思います。

ラグビーを見る時には、これまでの歴史やモニュメントのこと、ラグビーの精神である『ワンフオアオール』の言葉などを思い出してみてください。

ラグビーワールドカップを熊谷で！！

四年に一度のラグビーの祭典であるラグビーワールドカップが、今年から六年後の二〇一九年に日本で開催されます。その試合会場は二〇二五年三月までに決定されますが、熊谷ラグビー場が試合会場になれるように活動をしています。みなさんも応援してくださいね。

(記者：奥野英樹)

調べてほしい ひみつ大募集

熊谷で調べてほしい「ひみつ」を募集しています。ハガキまたはメールにて調べてほしい内容を書いてお送りください。皆様からの新聞に対するご意見もお聞かせ下さい

応募先

〒360-0041 熊谷市宮町2-39 熊谷商工会館内
社団法人 熊谷青年会議所
熊谷ひみつ新聞「ひみつ大募集」係
メール: info@kumagaya-jc.or.jp

編集後記

みなさん、こんにちは。編集長のおじさんです。

今年3回発行した新聞の中で、熊谷のいろいろな「ひみつ」を紹介してきましたが、熊谷って魅力いっぱい素敵なおまちですよ。おじさんは、そんな熊谷で生まれ、育ち、今も熊谷で生活しています。将来、みなさんは勉強や仕事の都合で、熊谷から離れて生活することになるかもしれません。それでも子どもを産むとき、おじさんのことを思い出して、いつかは熊谷に戻り、まちを盛り上げていくような人になってくれたら、おじさんはうれしいです。

今年はこの第6号が最後となります。また来年、新しい編集長と編集委員の人たちが面白い新聞を作ってくれと思うので、期待して待っていてください。一年間、ありがとうございました。

編集長 大川正行

1日限定! 「星川水族館」オープン

熊谷初の水族館が1日限定オープンです。ムサシトミヨはもちろん、荒川や利根川、星川に住んでいる魚を展示します。みんなで秋の星川散歩をしながら、魚を見学しに行ってみよう!

日時: 10月27日(日) 13:00~17:00
場所: 星川 費用: 無料
主催: 熊谷市ムサシトミヨをまもる会
協力: 埼玉県環境科学国際センター

開催場所